

# てんだあ

3  
2025  
vol.65

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。



この広報紙は、共同募金の配分金によって発行しています。



会うことで  
お互い安心だね

特集

## 地域がつながる 見守り活動

### CONTENTS

- ◆特集 地域がつながる見守り活動…………… 2P
- ◆第 19 回南房総市社会福祉大会…………… 3P
- ◆福祉作文コンクール…………… 4P・5P
- ◆ふくしニュース・掲示板…………… 6P
- ◆ボランティアネットワーク…………… 7P
- ◆善意の寄附・お知らせ…………… 8P

# 地域がつながる見守り活動



顔と顔を合わせてお互い安心

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、市内各地で地域の住民が主体となつて様々な支え合いの活動が行われています。

社会福祉協議会でも、市役所や地域包括支援センターをはじめとする関係機関とともに、地域での支え合い活動を行っています。今回は、ボランティアや民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会委員など地域の方々が、高齢者等の自宅を訪問し見守り活動を行う「あんしん見守り事業（みまも〜る）」の活動を紹介します。

「みまも〜る」が開始されたのは令和5年の4月。台風大雨

災害やコロナ禍を経て、一人暮らし世帯に限らず支援の必要な方を地域のつながりの中で見守っていくことの必要性が再認識されたことから始まりました。地域の方々が毎月1回訪問をしており、その対象となつている方は市内7地区あわせて1,000人ほどになっています。

訪問を行っている民生委員・児童委員は、みまも〜るの活動について「定期的に訪問することで少しずつ関係を築き、困ったことがあれば相談してもらえようになつたほか、今ではいろいろなことを話せるようになりました。また、地域の方々のつながりもできました。」と話します。一人暮らしで高齢の方は、外出する機会や地域とのかわりが少なくなりがちですが、定期的に顔と顔を合わせること、自然と会話が弾むようになり、お互い安心につながっているようでした。

また、訪問の際に利用者に渡す絵手紙を書いてくれたり、季節に応じた折り紙を作成



ボランティア作成の絵手紙や折り紙

してくださるボランティアの方々など、実際に自宅を訪問する以外にも、見守りの輪が広がっています。

今回は、「みまも〜る」を一例に地域での見守りについて紹介しました。地域にはご近所でのつながりのほか、趣味を通じたつながりなど、様々なつながりがあるのではないかと思います。そういった関係のなかで、お互いに気にかける地域について考えてみてはいかがでしょうか。

## あんしん見守り事業（みまも〜る）

### 内容

毎月1回、ボランティア、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会委員など地域の方々が自宅を訪問し、声かけしながら見守り活動を行います。

### 対象

高齢者世帯や障がいのある方などで地域の見守りが必要と思われる方

希望される方は、お住まいの地区の民生委員・児童委員  
または南房総市社会福祉協議会（内房支所・朝夷支所）  
までお問い合わせください。





# 第19回 南房総市社会福祉大会

「私の住む南房総 つなごろう! こどもたちの未来のために」をテーマに

11月23日(土) 三芳農村環境改善センターを会場に開催しました。

大会では、人と人とのつながりを育みながら助けあい支えあう「つながり」を大切にし、地域づくりを進めているなかで、次世代を担う子どもたちの未来にその「つながり」が途絶えることなく、誰もが安心して暮らせる地域を目指すことを誓いました。

また、永年地域福祉活動に貢献された個人、団体、福祉作文コンクール入賞者の表彰を行いました。

## 表彰者一覧 ※順不同、敬称略



《千葉県社会福祉協議会会長表彰状》

〔社会福祉施設・団体関係役職功労者〕

渋谷 幸一

〔優良地区社会福祉協議会〕

富山地区社会福祉協議会

《千葉県社会福祉協議会会長感謝状》

〔社会奉仕功労団体〕

人形劇団ころころ

《千葉県共同募金会長表彰状》

〔共同募金優良地区〕

富山地区 二部区

三芳地区 池之内区

三芳地区 中区

千倉地区 下瀬戸区

千倉地区 椎の木原区

丸山地区 峰区

丸山地区 安馬谷区

《南房総市社会福祉協議会会長表彰状》

〔地域福祉活動功労者〕

永井 玉枝 外山 初江

青木 徳雄 石井 政義

佐久間里子 松岡かづ子

眞田美枝子 吉野 啓子

〔地域福祉活動功労団体〕

ステーションそら

《南房総市社会福祉協議会会長感謝状》

〔団体〕

白浜町ゴルフ部

白浜地域づくり協議会きらりゴルフ愛好会

フ愛好会

ラリーチームホットスタッフ

《南房総市社会福祉協議会福祉作文優秀作品表彰状》

〔小学生の部〕

最優秀賞 水島 優佳(嶺南小)

優秀賞 長谷川夏希(嶺南小)

木戸 純太(白浜小)

優良賞 村山 紗雪(富浦小)

石井梨々夏(白浜小)

〔中学生・高校生の部〕

最優秀賞 鈴木 百絵(南房総中)

優秀賞 泉 菜月樹(嶺南中)

三幣 晴波(嶺南中)

優良賞 涌井 紗音(富浦中)

羽山 梓咲(富浦中)



おめでとう  
表彰状です

市内の児童・生徒の皆さんが体験した「おもいやり、たすけあいの心」をテーマとした作文 390 編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。



みずしま ゆか  
水島 優佳さん

最優秀賞 《小学生の部》  
「笑顔で充分」

南房総市立嶺南小学校  
6年 水島 優佳

みなさんは、自分の知らない人のコミュニケーションは得意ですか。私はとても苦手です。考えただけでも緊張してきて、手に汗がにじんできます。友達となら大丈夫なのに、知らない人との会話はもちろん、あいさつもしっかりとできるか不安になってしまいます。そんな私ですが、今年の夏休みに南房総市の「ボランティア体験講座」に参加しました。川市内のケアハウスで生活している祖父「鴨じいちゃん」の存在です。鴨川に住んでいるので鴨じいちゃんと呼んでいます。この鴨じいちゃんですが、会いに行っても、会話が続きなくなることも多くなりました。

もともと耳が遠く補聴器を付けているのですが、それでも聴こえないことも多いようで、私が話しかけてもきよんとしていることがあります。以前は会いに行くと、とてもよろこんで、「大きくなったな。」「勉強は楽しいか。」「お父さんとお母さんの言う事をしっかりときくんだよ。」「かぜをひかないように。」「などなど、耳が不自由でも、なんとか私の声を聞きとろうと、体と耳を私にかたむけて話をしようとしてくれました。しかし、最近は会いに行ってもここにしているだけで、以前のように私に話しかけてくれません。私もなにを話せばいいのか困ってしまい、静かな冷めた空気が流れてしまいました。このなんとも居心地の悪い時間がつらくなり、母に相談した事がありました。母は、「認知症が少し進んでしまったんだよ。」「と、おしえてくれました。私もテレビで認知症について、高齢者の方々の様子を見て知っていたので、もしかしたら鴨じいちゃんもそうなのかな、と思っていました。母がいうには、私が会いに行くことをとても楽しみにしてくれているのだそうです。言葉は出にくくなっているけれど、お母さんには「何年生になった。」「とか「習字は何級になった。」「と繰り返し聞いてきて、とても私の事や兄の事を気にし

てくれているそうです。そんな鴨じいちゃんもつとおしゃべりができるようになりたい、鴨じいちゃんがよろこぶようなお世話をしたいと思うようになりました。

そんなことを考えていた時、学校からもらったボランティア体験のプリントがとても気になり挑戦することにしました。ボランティア体験には、海岸の清掃や絵本の読み聞かせなどたくさん体験がある中で、何に挑戦しようか考えれば考える程、うまくできるかなあと心配になりました。でも勇気を出して選んだ体験は、「おたがい茶間カフェ」という高齢者の方々の介助をしたり、お話をしたりするものです。ここで高齢者の方との交流とコミュニケーションはチャンスかも、と思いました。でも、なかなか一歩がふみ出せませんでした。そんな私に母が、「案ずるより産むがやすし」という言葉をおしえてくれました。物事は実際にやってみると、心配したほど難しくないと不安がなくなりました。母の言葉けれどやってみなければなにも変わらない、鴨じいちゃんのことを考えながらがんばろうと思いを申し込みました。

ボランティア体験当日、不安と心配で少しお腹が痛くなりました。し

かし、おたがい茶間カフェに着いた時に「よし。」という気持ちに変わっていました。おたがい茶間カフェでは高齢者の方に飲み物の種類を聞いて出したり、おかわりを持っていたりしました。高齢者の方の多くは飲み物を持っていくと「ありがとう。」「と言ってくれます。私はペコッと頭を下げるだけで、なかなか会話をすることまではできませんでした。中には、「どこの学校。」「や」「どこから来たの。」「と聞いてくれた方もいましたが、私から質問することはできませんでした。しかし、ボランティア体験の二時間はあっという間でしたがどの高齢者の方も笑顔だったことが印象的でした。高齢者の方と会話をはずませることはまだまだ難しいですが、高齢者の方々がボランティアの子ども達が来てくれることを楽しみにしていたと知り、この体験を通して、高齢者とのかわり方の考え方が少し変化しました。高齢者の方とコミュニケーションを深めるなんてとても難しいことだと思っていました。でも私は、たとえ会話がつかなくたってとてとびきりの笑顔で関わることが大切だと思つようになりました。笑顔のいい所は、耳の不自由な方とも最高のコミュニケーションがとれるということです。

体験後、まだ鴨じいちゃんに会いには行けていません。まだ会話がはずまないかもしれませんが。ですが会ったらとびぎりの笑顔で「鴨じいちゃん」と呼んでみようと思います。そしたら、私と鴨じいちゃんの笑顔「ミニニケーション」が始まりそうです。

### 最優秀賞 《中学校の部》 「私の考えるバリアフリー」

南房総市立南房総中学校  
1年 鈴木 百絵

「学校の水道、センサーでよかったです。」指を骨折した時に感じたことです。部活中に左手の親指を骨折してしまい、しばらくの間骨がしっかりとつくまで添え木で固定となりました。その時、普段は感じることもなかった不自由さに困惑しました。骨折の痛みはもちろんですが、自由に使えるのは右手だけで片手ではやりにくいことだらけになってしまいました。自分では開けられないペットボトル、一人では結べない髪の毛、他にもいろいろ…。そして、意外に困ったことは水道でした。蛇口をひねることは何とかできるけれど、力が入りにくくやりにくい。だからこそ学校の手洗い場の水道がセンサーになっていたの、スムーズにできてほっとしました。

この体験を家族と話していた時、兄が言いました。「俺が足のケガで松葉

杖をついていた時、色々なことを感じたなあ。学校で三階まで松葉杖で上るのが本当に大変だった。エレベーターがあればいいのになと思ったよ。あと、段差もなくなればいいのになとか、トイレももっと広くなればいいのになとか。俺は松葉杖だったけど、車椅子の人だったら昇降口もスロープがないと困るよね。」この学校には、そういう設備がほとんどありません。だから、この兄の言葉にはとても共感しました。さらに兄は、「不自由さを経験してみてもわかったよ。荷物は友達が持ってくれたからすごく助かったけれど、イライラすることもあったんだ。移動に時間がかかって待たせてしまう友達に申し訳ないなあと思っていたんだ。あと遠征のバスでは、松葉杖での乗降の大変さや周りに迷惑をかけるように、お母さんにはずいぶん送ってもらったね。みんなに助けてもらったなあ。」そう話す兄は、「バリアフリーが整っていたら、身体も心ももう少し楽になれるのになあ。」とも言っていました。

『バリアフリーが整っていたら、心も楽になる』この言葉がどういう意味なのか、考えてみました。バリアフリーが「整つ」ということは、「物理的に整備」されていけばケガや障害のある人にとって動作が楽になるということだと思います。でも、それだけでは本当に楽に過ごしているわけではありませ

ん。困っていても口には出せない、助けてくれた相手に申し訳ない、人に迷惑をかけないようにと身を固くし周りに気を遣って過ごしているから、心はちつとも楽ではありません。兄が言った『心が楽になる』ということは、こうしたことに身構えないで周囲にとけこんで自然体で過ごせる、ということだったのではないのでしょうか。

世の中にはバリアフリーや介助を必要とする人はたくさんいます。ですが、実際、バリアフリーが整っていない場所がまだまだたくさんあるのはなぜでしょう。それは、ばく大なお金や時間が必要だからではないでしょうか。しかし、ケガや障害のための不向きで、困っている人がいたら、それに気づき手を貸すことも心のバリアフリーだと思つのです。これにはお金も時間も不要です。『気づこうとする心』さえあればできることです。手洗い場の水道のセンサーやエレベーターはすぐには設置できなくても、困っている人に気づき、声をかけ、手を貸すことはすぐにできます。困っている課題を共有してかわり合うのは大切なこと。家族との語りの中で気づきました。人は安心して心豊かに暮らしていくためには、物理的環境の充実だけでなく、ひとりひとりが助け合う心を持つことが大切なのです。

私が考えるバリアフリーな日常。それは、施設、設備的に整つことももちろんですが、何よりも、困っている人

に気づき、声をかけたり手を貸し助けようと行動する人が増えたりすることだと思えます。ケガや障害のある人が周囲に遠慮しなければならぬなんてことは絶対にありません。学校や職場、社会等多くの場面でみんな同様に安心して過ごせる事が当たり前。ただ何かの理由で、生活上で支障となる障害があるだけです。

「大丈夫？」と友達が一緒に荷物を持ってくれてとても嬉しかったです。私のホツとした様子に友達も嬉しそうでした。その顔を見て私は一層嬉しくなり、友達の手助けがありがたかったことを覚えていきます。痛い経験でしたが、大切なことに気づきました。友達の言葉や手助けの後、友達との心の距離がより縮まったということ。心がけます。今日からできる私のバリアフリー。『気づき、行動し、結ばれる絆』



鈴木 百絵さん



12月

「地域の皆様からのプレゼント」  
赤い羽根配分事業 絵本贈呈

子どもたちに絵本に親しんでもらうとともに、思いやりの心を育んでもらおうと、市内の保育園と幼稚園に絵本の贈呈を行いました。

この取り組みは、赤い羽根共同募金を活用した地域の子どもたちに向けた事業で、今年で5年目になりました。

新しい絵本に子どもたちは大喜びで目をキラキラ輝かせ、早速お友だちと一緒にうれしそうに絵本を開いていました。皆様のあたたかい気持ちで、子どもたちの笑顔になりました。



新しい絵本にみんな夢中！

2月5日

「本格的なおもちつき」  
富山地区社会福祉協議会  
『富山学園6年生もちつき交流会』



みんな上手につけました！

もうすぐ卒業の富山学園6年生の皆さんに向け、「何か思い出になることを企画したい」と考えた地区社協委員さんと富山学園で相談し、『餅つき交流会』を開催しました。

ほとんどの児童は杵と臼を使用したもちつきが初体験でしたが、みんな威勢よくもちをつき、できたお餅はあんこ・きなこ・大根おろし・納豆に絡めて食べました。

参加した児童の皆さんからは「貴重な体験をさせてもらい、美味しいおもちを食べられてとても楽しかった。ありがとうございました。」との感想が聞かれました。

掲示板

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

～ご協力ありがとうございました～



10月から実施しました赤い羽根共同募金、そして12月からの歳末たすけあい募金では、市民の皆様から多くのあたたかい善意をお寄せいただきました。

行政区を通じての戸別募金、各学校の児童・生徒の皆さん、市内の商店、各種団体やボランティアの方々など多くの方にご協力をいただきありがとうございました。

皆様からお預かりした募金は、千葉県共同募金会をとおして次年度に南房総市の地域福祉活動のために配分されます。

また、歳末たすけあい募金は、南房総市支会配分委員会において審議のうえ、市内の支援を必要とする方や施設へ、民生委員・児童委員を通じてお届けしました。

令和6年度募金実績

赤い羽根共同募金

6,405,770円

歳末たすけあい募金

5,847,562円



南房総市産業まつりにて街頭募金



## 令和7年度ボランティア登録を受け付けています

南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内でボランティア活動を行う皆さんを支援するため、ボランティア登録を受け付けています。

令和6年度は49団体・延べ638名の登録があり、各団体が様々な活動を行っています。現在、令和7年度のボランティア登録を受付中です。ぜひ、この機会に登録してみませんか？

※令和6年度に登録された個人・団体の方も更新が必要となります。

### 登録すると…？

- 社会福祉協議会が契約しているボランティア活動保険へ無料で加入できます
- 希望する団体へボランティア活動助成金を交付します（登録人数により20,000円から40,000円）



## 南房総市ボランティア連絡協議会 ボランティアまつりを 開催しました



2月8日（土）南房総市ボランティア連絡協議会主催のボランティアまつりがみよし交流館で開催されました。

ボランティア活動を知っていただく事を目的に毎年開催しており、今年度は晴天にも恵まれ、昨年度よりも多くの方々に来場いただきました。

当日は市内ボランティア団体の活動紹介と作品展示、折り紙アートやどんぐりアートなどの体験ブースなどが設けられたほか、アトラクションとして「南房総落語愛好会」の落語、「あひるの会」の読み聞かせ、「千葉ボラサポート」による防災講話、「昌宏会」の三味線演奏が行われました。

また、屋外では南房総市赤十字奉仕団によるハイゼックス米の無料配布、中里ワークホームによる出展もあり、会場はたくさんのお客さんでにぎわいました。

たくさんのまごころ  
ありがとうございます。



## 善意の寄附

敬称略/令和6年10月～令和7年1月

### ○福祉振興基金

|                   |          |
|-------------------|----------|
| 合同会社青木板金          | 10,000円  |
| 南房総市朝夷商工会 サービス業部会 | 46,097円  |
| 白浜ゴルフ部            | 35,141円  |
| さざなみ会 白浜中学校35年卒業生 | 40,455円  |
| 匿名(5件)            | 110,429円 |

### ○物品

|            |        |
|------------|--------|
| 合同会社青木板金   | 車いす1台  |
| 明治安田生命労働組合 | 雑巾200枚 |

この寄附金は、本会基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。



## information

### 紙おむつ給付事業

#### ▶対象者

- ・在宅で一日中ベッドで過ごされ、日常生活のほとんどに介助を要する要介護認定3・4・5の方
- ・身体障害者手帳(1・2級)をお持ちの方
- ・精神保健福祉手帳(1・2・3級)および療育手帳(A・B)をお持ちの方

#### ▶給付金額

1回あたり税込5,000円以内  
※要介護3の方は税込2,500円以内

#### ▶給付回数

年4回

### 高齢者介護用品支給事業

#### ▶対象者

- ・65歳以上で在宅の要介護認定4・5の方、介護されているご家族
- ※要介護高齢者の属する世帯全員の前年度分の市民税が非課税であることが必要

#### ▶給付金額

1回あたり税込25,000円以内

#### ▶給付回数

年4回

### 無料法律相談

司法書士が相続などの相談に応じます。

| 開設日   | 場 所            |
|-------|----------------|
| 4月17日 | 三芳農村環境改善センター   |
| 5月15日 | ちくら介護予防センターゆらり |
| 6月19日 | 三芳農村環境改善センター   |
| 7月17日 | ちくら介護予防センターゆらり |

#### ▶時間

午後1時～午後4時40分

#### ▶定員

5名(相談はおひとりにつき40分まで)

#### ▶受付

前月の開催日翌日から電話にて予約を受け付けます。

#### ▶その他

調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。  
弁護士による相談は他の機関を紹介します。

#### ▶申し込み

本所 ☎29-3729

### 福祉車両貸出事業

車いす対応の軽車両(スロープ式)を無料で貸し出します。

※燃料代は自己負担です。返却時に使用した燃料の補給をお願いします。

※ご利用の際は事前にお電話で空き状況をご確認ください。

### 福祉機器貸出事業

高齢の方や障がいのある方などへ車いすを無料で貸し出します。

#### ▶貸出期間

6ヶ月以内

### 訪問理髪サービス事業

訪問理髪サービスにかかる費用を助成する給付券をお渡しします。

#### ▶対象者

下記のいずれかに該当し、在宅生活で理美容店に出向くことが困難な方

- ・要介護認定4・5の方
- ・身体障害者手帳の下肢または体幹機能障害の程度が1・2級の方
- ・その他同程度の障がいのある方

#### ▶助成額

理髪サービス1回あたり3,000円  
※申請月によりお渡しする給付券の枚数が異なります。

— 発行・編集 —  
(各種申込先)

### 社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

|       |                 |          |             |
|-------|-----------------|----------|-------------|
| ◆本所   | 南房総市谷向109-1     | ☎29-3729 | FAX 36-2261 |
| ◆内房支所 | 南房総市谷向109-1     | ☎36-2276 |             |
| ◆朝夷支所 | 南房総市千倉町瀬戸2705-6 | ☎44-3541 |             |

南房総市社協

🔍 検索